

# 本人患者さんへの情報公開文書

「胆道再建を伴わない肝切除術後<sup>たんじゅうろう</sup>胆汁漏症例に対する治療成績の検討」

## についてのご説明

- はじめに

肝切除後の胆汁漏は、肝切除症例の約 4～8%に発症する合併症です。肝臓の切除を行う際は、切除断面の脈管を電気メスで焼いたり、糸で結んで閉鎖しますが、ときに手術後肝切除面から胆汁がもれることがあり、これを胆汁漏と呼びます。軽微であれば自然に治癒しますが、胆汁の漏れが治りにくい場合もあり、この際は特殊な治療を必要とし、治癒までに長期間かかることがあります。

これまで当院で術後に発症した胆汁漏の危険因子や治療方法・成績について検討を行います。これらを把握することは、肝切除術後の合併症対策に寄与するデータとして臨床上有用であり、医学上の貢献ができるものと考えます。

- 研究対象；

過去 10 年間（2007 年 3 月 1 日～2017 年 2 月 28 日）に肝切除術（胆道再建なし）を受けた患者さんのうち、術後に臨床的な症状（腹痛、発熱など）を伴う胆汁漏を発症した症例。

- 研究期間；病院長承認日～平成 30 年 6 月 30 日

- 症例数；23 症例

- 研究内容と個人情報

各患者さんの電子カルテ上のデータを収集し調査いたします。得られたデータは、下記のデータセンターに集約されて、解析されます。全てのデータに対して匿名化処理を行ないますので、被験者の方の個人情報については完全に保護されます。

- 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合について

研究の被験者となることを希望なさらない場合、お申し出いただければ、ただちに研究対象から除外いたしますが、既に研究結果が論文などに公表されている場合や研究データ解析が終了している場合には、解析結果からあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくな

ります。

患者さんの日常診療以外の余分な負担や経費は生じません。

この研究にご質問のある方は、下記の連絡先までお申し出ください。

<問い合わせ先>

札幌市中央区南1条西16丁目

平日：札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科教室

TEL: 011-611-2111(内 32810)

夜間・休日：札幌医科大学附属病院 消化器・総合、乳腺・内分泌外科(旧第一外科)  
病棟

TEL: 011-611-2111(内 32910)

研究責任者 永山 稔